

先日、教育相談が行われました。「特に困っていることがない」と話す生徒がいる一方で、困っていることを担任に打ち明ける生徒も多くいました。友人との関係、学級の雰囲気、自分の学習面や進路についてなど心配事は多岐にわたります。私たち教員も何とか生徒たちの心配の種を減らすことができないかと考える場面も多くありました。すぐに解決できること・できないこともあります。地道に生徒に寄り添っていきたいと感じています。また、少数ながら家族との関係での悩みを打ち明ける生徒もいました。子どもの視点からによる訴えではありますが、心配です。保護者の方々、そして私たち職員も含め「こんな言い方でよかったかな」「理不尽だと感じさせていないかな」と日々振り返っていくことの大切さに目を向けられるとよいと感じています。

学習面での困りごとを減らそう

4月の初めに教研式学力検査というテストを実施し、その結果を教育相談の中で返却をしました。このテストは「3年生が2年生の学習内容を振り返る」というように前年度の内容を習得できているのか確認するためのものです。

テストの結果を記した「生徒個人票」には二次元コードが載っており、それは各生徒によって異なります(図1)。

個人票の二次元コードを読み取ってアクセスします

図1

図2

このページは、あなたの教研式学力検査の結果をもとに作られています。苦手なところをなくしたり、得意なところを伸ばしたりするアシストをします。読み進めながら、アシストシートに取り組みでみましょう。

1 学習への取り組み方について

あなたは学習において、全体的に課題がみつかることがわかりました。特に課題の多い資料について、いきなり難しい内容に取り組みのではなく、初歩的な内容に集中することが大切だとわかることから始めて、少しずつ理解を深めていきましょう。焦らずに少しずつわかるようになっていくうちに、段々と学習が上がり、理解できる内容も増えていきます。まずは1つ、基本的な学習に取り組んでみましょう。

2 学習に取り組んでみましょう

あなたの学習へのアシストを参考に、アシストシートに取り組んでみましょう。数値は、取り組んでほしい順番に並んでいます。

2025年6月3日 2025年6月4日 2025年6月5日 2025年6月6日 2025年6月7日 2025年6月8日 2025年6月9日 2025年6月10日 2025年6月11日 2025年6月12日 2025年6月13日 2025年6月14日 2025年6月15日

中学1年 数学

資料の活用

ポイント

度数分布表…資料を整理するために用いる区間を階級、区間の幅を階級の幅、それぞれの階級に入っている資料の個数を、その階級の度数という。資料をいくつかの階級に分け、階級ごとにその度数を示して、分布のようすをわかりやすくした表を度数分布表という。

相対度数…その階級の度数の、全体に対する割合を相対度数という。

代表値…資料の特徴を1つの数値で代表させたものを代表値という。代表値には、平均値、メジアン(中央値)、モード(最頻値)などがある。

学習のオススメ分野

資料の活用

多読の試行による効果

二次元コードからアクセスすると各生徒自身への学習のアドバイスであるアシストページ(図2)に入ることができます。「オススメ」の欄をクリックすると図3のようなページに入ることができます。

図3

基本問題

1 右の度数分布表は、あるクラスの30人について、ある日の1日の家庭学習の時間をまとめたものです。次の問いに答えなさい。

(1) 階級の幅を答えなさい。

(2) 家庭学習の時間が40分である生徒はどの階級に入りますか。

(3) 度数がもっとも多い階級を答えなさい。

階級(分)	度数(人)
0 ~ 20	3
20 ~ 40	4
40 ~ 60	8
60 ~ 80	9
80 ~ 100	6
計	30

図3は、テストの結果から苦手と判断された内容です。アシストページでは、このように各教科の苦手な単元ごとのポイント・基本問題・チャレンジ問題・解答や聞き取り問題を見られます。前年度の不得意な内容を再確認してください。キュビナでも同様に小学生までさかのぼった学習が可能です。

保護者の皆様へ

先日に行われました学校開放には、お忙しい中、多くの保護者にご参観いただき誠にありがとうございました。保護者の皆様の授業に対する関心も大変高く、私たちもさらに授業力を精進させなくてはならないということを実感いたしました。7月8日～14日は個別懇談会が行われます。学校のことでお気付きのことがありましたらお知らせください。

豊正中学校の現在の様子

昨年度生徒に対して実施した学校アンケートの結果から、多くの生徒が「学校に来るのが楽しい」と回答していました。4月に始まった新しい学級の中でも、そう感じられていればいいなあと思います。昼の休み時間には毎日150人以上の生徒がグラウンドで思い思いに遊んでいます。4月に異動してきた職員の多くが「前の学校と比べてもこの学校の生徒は昼も元気よく遊んでいるあ」という印象をもつようです。図書室でも教室でも友人や教職員と朗らかに話している様子が見られます。チャイムが鳴るとすぐに教室に戻り、授業と遊びの切り替えがしっかりできているのではないのでしょうか。

それでも何らかの悩みやうまくいかないことに直面している生徒もいます。そんな生徒も安心して学校生活を送ることができるよう支援していきたいと私たちも考えています。小さなことでもお気付きのことがあればご相談いただけると幸いです。



昨今、「いじめ」を始めとする子どもの人権問題が大きな社会問題となっています。そこで、名古屋法務局と愛知県人権擁護委員連合会では、いじめや家庭内における虐待等に悩む子どもたちの声を拾い上げるために、専用相談電話「子どもの人権110番」およびインターネット人権相談受付窓口「子どもの人権SOS-eメール」「子どもの人権SOSチャット」「LINEじんけん相談」が開設されており、子どもをめぐる人権相談に対応しています。同機関では、子どもたちの誰にも言えない悩みに、いち早く気付ける手段として、「子どもの人権SOSミニレター」を作成しており、先日本校では配付をしました。

このミニレターは、身近な人にも相談できずにいる子どもたちの悩みごとを的確に把握していくことを目的としています。悩みごとがある人は、ミニレターを書いてポストに入れてください。なお、ミニレターの郵送料は、料金受取人払となっていますので、切手は不要です。相談内容については秘密が守られ、返答は人権擁護委員会が中心となって生徒の選択によって手紙または電話で行います。



電話相談窓口

子どもの人権110番

0120-007-110

平日8:30～17:15

(外国の方で学校配布の文書を読み取ることが難しい場合は、翻訳アプリを用いて読んでください。分からないことはご遠慮なくお尋ねください)

If it's difficult to understand letters from us, please use translation applications. Don't hesitate to ask us.

很難理解我們的信的話、請使用翻譯軟件。請不要猶豫提問。